

神の国を見るためには

(ヨハネ三・一～一六)

四十四対五十六。そして五十五対四十五。これは今年二月に行われた「死後の世界を信じるか」という問いに関する答えである。前者は大学生、後者は社会人。いずれにせよ拮抗した数字であることは間違いない。その理由も様々。「見えないものを信じていないし、実際に真実だと証明されていないから(ない)」とか「世の中には科学で説明できない精神世界みたいなものがある気がするから(ある)」とか、中には「死んでからはゆつくりしたいから(ない)」というのもあった。「ゆつくりする」は存在が前提されるから「ある」じゃないのか。と突っ込みを入れたくもなるが、まあ様々である。

閑話休題。今朝の個所は「聖書の中の聖書」とも呼ばれるヨハネ三・一六を含むものであり、それはイエスとニコデモと言う宗教指導者との対話に端を発している。そしてこの対話の内容は神の国に入るためにはどうすればよいのかということに終始している。以下、イエスの語った天国に入るための条件について考えてみたい。

一、新しく、霊的に生まれる

パリサイ人としようと専らイエスに反対し、イエスを陥れようとしていた人々と私たちは思いやすいのだが、ニコデモはどのような悪い動機をもってイエスに近づいたようではなさそうである。むしろ彼は自らよりもずっと年下の青年イエスを「先生」と呼び、イエスの姿の背後にある神の臨在を認めていた。そのニコデモに対し、イエスが発した言葉こそ「人は、新しく(上から、もう一度)生まれなければ、神の国を見ることはできません(三節)」だった。しかしニコデモはイエスの言う、「新しく生まれる」ことの真意を理解出来ず、文字通りの「生まれ直し」と受け止めてしまった。そこでイエスは「新しく生まれる」を「水と御霊によって生まれる」ということばで説明しなおした。これによってイエスの意図は明確になった。神の国を見、天国の祝福に与るために、人間は生物学的な誕生を越えた、霊的な誕生を体験しなければいけないということである。ちなみにある学者たちは「水と御霊」の「水」はキリスト教の洗礼を指すと考えるが、この水は「御霊」の比喩的表現と考えた方がよい。とにかく人が天国の祝福を得るためにはただ生まれて、生きてというだけでは絶対に足りないのであり聖霊によって新しく生まれる必要があるのだ。

二、十字架のイエスを信じる

しかしイエスのこの発言をニコデモは理解出来なかった。寧ろ「どうして、そのようなことがありうるのでしょうか。(九節)」と訝しんだ。そこでイエスはユダヤ人の不信を指摘したのちに、自らが天から下ってきた存在である事、またモーセが荒野で蛇を上げたように、自らも上げられるとすることを説いた。「モーセが荒野で蛇を上げた」というのはその昔、神の民イスラエルが、神とモーセに反逆し、神が与えた天来の食物であるマナをなんと「みじめな食物」と言い捨てた時、神の逆鱗に触れ、多くの人が蛇にかまれて絶命したという記事に由来する(参：民二一・四～九)。

神の怒りと裁き、蛇にかまれて絶命する仲間達を見た人々は自らの罪を悟り、モーセに懇願する。その民のために神がモーセに用意させたのは青銅製の蛇であった。モーセはそれを旗竿の上に付け、蛇にかまれた者に対して「蛇を仰ぎ見れば生きる」と言い、実際にそれを見た者は生きのびたのである。良く考えれば蛇にかまれた者が青銅の蛇を見て生きのびるといのはおかしい話だ。だがその言葉を信じ、実際に青銅の蛇を仰いだものは生きたのである。同じように後に十字架の上上げられた自らを信じて仰ぎ見る者は救われるとイエスは語られ、そのことはこの対話の

数年後、ゴルゴダの丘で実現したのである。十字架の主を仰ぎ見る者は、その信仰の行動によって皆新しく生まれ、天国の祝福に入ることが出来るのである。

* * *

桜の季節になる度に思い出す先輩がいる。片岡伸光先生だ。K G Kの主事を辞し、シンガポール日本語教会(S J C F)の専任の牧師となった先生と私は出会い、共に福音の為に働いた。大きな体でゴルフや水泳が大好きな先生が病に倒れたのは二〇〇一年のことだった。病名はすい臓がん(第四期)。急きよ一時帰国し手術を試みるも、なにも出来ずに縫い合わせるだけの結果に終わった。だが先生は戻ってきた。一時は劇的な好転を見せた病状も二〇〇二年に入るところには激痛に襲われる日々となったがモルヒネカクテルを飲み、脂汗をにじませながらなお講壇に立ち牧師としての使命に生き続けた。先生がシンガポールを離れたのはその年のイースターの翌日、死の五日前だった。先生が天に召されたとき次男はこう言ったという。「死ぬのが怖くなくなつたよ」と。神の愛の完全な現れである十字架の主を信じる者は今生を鮮やかに生き、永遠のいのちへ恐れなく旅立つことが出来る。今、イエスを信じよう。天国はそこにある。